

50周年記念 白馬岳～朝日岳山行報告書

(山 域) 北アルプス北部

(コース) 蓮華温泉～白馬大池～小蓮華山～白馬岳～雪倉岳～朝日岳～蓮華温泉

(日 時) 8月 27～29日 (月)

(天 候) 27日 風弱く雨 28日 晴れ 29日 晴れ (風あり)

(参加者) CL 田中 時田 (記録)

(山行タイム)

27日 蓮華温泉 06:00～白馬大池 10:30～小蓮華山 12:30～三国境 13:22～白馬岳山頂 14:12～白馬山荘
14:28～村営白馬岳頂上宿舎 14:15～白馬山荘 15:00

28日 白馬山荘 05:15～三国境 06:08～雪倉岳避難小屋 07:35～雪倉岳山頂 08:30～朝日岳水平歩道分岐
13:03～朝日小屋 13:20

29日 朝日小屋 05:32～朝日岳山頂 06:43～千代の吹上 07:22～白高地沢橋 11:07～瀬戸川橋 11:56～兵馬
ノ平 12:50～蓮華温泉 13:45

(山行報告)

8月 26日

迷走台風に惑わされ参加者が激減し二人になり市原を早めの 19:00 に出発する。
首都高で工事渋滞に巻き込まれ、蓮華温泉に到着したのは 03:30 になっていた。
車中で軽く乾杯をして仮眠をとる。

8月 27日

目を覚ますとシトシトと雨音が聞こえた。あ～やっぱり！
2時間程の仮眠で頭も重いが、おにぎりをかじりながら身支度。もちろん雨具も！
天気のリcoveryを願いつつ蓮華温泉を出発。
今日の行程は長いんだ、頑張らなくては。
まずは白馬大池までだ。こんな天候の為か登山者は他には居ない。
ねむい目をこすりながら歩く。大池に着くもガスでよく見えない!!!
青い空と緑の山並みが水面に映るのを期待していただけにとっても残念だ。



【白馬大池にて雨はただ降るばかり】

写真を撮る気にもならず先に進むこととした。
次に目指すは小蓮華山だ。新潟県の最高峰である。
NHK ドラマ『坂の上の雲』のエンディングで使われたのが小蓮華山の稜線の景色だそうだ。
残念ながらその美しい稜線を見ることはできなかった。
山頂には槍の様なものが立っていた。ザックを下ろしやっとの事で休憩となった。
暫くすると、田中さんが小声で呼んでいる。
『オコジョ！オコジョがいるよ。』

見ると田中さんの直ぐ足元に小さいオコジョ!!!!

体長 13センチ程で丸い顔 丸い耳、超超超かわいい!!! 岩の隙間から何度も出たり入ったりしている。

小さな祠にあげられた硬貨に溜まった雨水をペロペロと舐めている、そして姿を消していった。私たちは可愛らしい、オコジョとの出会いで元気を貰い白馬岳山頂を目指す。今日の行程はひたすら登りのみ、呼吸を整える小休憩を取りながらの登り。途中、寝不足で意識が飛びそうになりながらどうにか山頂に到着。明日も山頂を通過する為バナーでの撮影も明日の天気を期待して省略し、白馬山荘へ急ぐ。

白馬小屋は大きな小屋、広い受付カウンターには驚いた。私たちは受付を済ませ、CL 田中さんは別動隊、唐松～白馬岳パーティが万が一村営宿舎に宿泊すると僅かに未踏破になるのを防ぐ為に村営白馬岳頂上宿舎まで足を延ばしに行ってくださいました。

30分程で戻りやっと小屋に入る。きめ細やかな配慮をありがとうございます。

ずぶ濡れの衣類、登山靴、ザックの全てを乾燥室に入れ、ホッとできた。

乾いた衣類に着替えさっぱりした。夕食までの時間は恒例の乾杯！

白馬山荘の夕食メニューは定番のハンバーグだった。手作りの味がして美味しかった。食後は天空のカフェテリアでコーヒーブレイク。(田中はこよなくこれが好きなのだ。)

昨夜、渋滞に巻き込まれた事もあり蓮華温泉に到着してから仮眠時間も余りなく、寝不足の私達は6時過ぎには就寝。

8月28日

たっぷりな睡眠時間で爽やかに起床、お天気も大丈夫そうだ。

朝食は小屋内で、シャケ弁当を頂き5時過ぎには小屋の外へ出る、外は朝焼けに雲海がどこまでも続いている。とても幻想的だ！



【村営頂上宿舎へ足を延ばす】



【見事な朝焼けの中の出発となる】

朝焼けは天候が崩れるかもと不安がよぎるが心配しても仕方ない、それより今のうちに少しでも前に進もう！

白馬岳山頂ではバナーを広げ記念撮影。日も登り青空も見えてきた～！今日は大丈夫そうだね。とうやくリンドウ、タカネマツムシソウ等の沢山の高山植物をカメラに収めながら気持ちのいい山歩きだ。

【白馬山頂と行く手に見える雪倉岳方面の山並み】



三国境をあっという間に通過する。昨日とは違い登り返しが多いコースだ。急登では息も上がるが降りながら呼吸を整える事が出来る。またお花畑や樹林帯、そして視界の開けた稜線と変化に富み飽きる事のない好きな道程だ。



【三国境とタカネマツムシソウ】

雪倉岳避難小屋で休憩を取り（雪倉避難小屋は緊急以外の使用は禁止とあった）雪倉岳山頂へ。この頃には空は真っ青になり気温も上がるが、雪倉岳から朝日岳へのこの山は実に水の豊富な山でいたる所にある水場で喉を潤し、顔を洗い清々しい気持ち。また、野生の木苺やブルーベリーも美味しかった。



【雪倉岳避難小屋と振り返ると白馬岳が見える】

明日も天気がもつ事を信じ、朝日岳山頂を回避し水平道を行く事に決め進む。

水平道とは名ばかり!!!と登りが出てくるたびボヤキが出る。笑！

最後の樹林帯を抜けると真っ白な木道の先に赤い屋根の可愛い朝日小屋が見えてきた。これで2日目の行動終了と、田中さんとハイタッチ！



【雪倉岳山頂とタテヤマリンドウ・ブルーベリー】



木苺・美味しい水・水平歩道分岐・朝日小屋が近づく

早い到着で良かった～！ 10畳の部屋は明るく清潔で感激した。

良く干されたお布団はしあわせ！

着替えと荷物整理を済ませ外のベンチで乾杯。小屋のおかみさんからアイスクャンデーを頂き更にクールダウンできた。

手作り料理が自慢の朝日小屋の夕食は、富山風おでん、鳥の甘酢あんかけ、かじき鮪の昆布ペ、ほたるいか沖漬け、トロロ、茶蕎麦、梅海新道と名のお菓子等で大満足です。

また、今日は下から担ぎ上げてくれたスイカの差し入れがあったとの事で、お裾分けを頂いた。

夜には星も出て、明日も天気は大丈夫そうだ。北斗七星がいつもより大きく見えた。

明け方には富山湾のイザリ火も見えて感動しまくりであった。



朝日小屋の富山風朝食と富山鱒寿司（冷凍販売）を昼ごはん食べる



8月29日

今日は小屋の朝食(田中流ご飯は富士山盛りお替り付)をしっかりと頂き出発する。少し雲が有るが、どうにか持ちそうだ。

朝日岳山頂までは1時間ほどだ、ずっと高山植物が応援してくれた。

8時半、千代の吹上（梅海新道分岐）に到着した。ここまでが私たちに与えられたミッションだ！



【朝日小屋にて記念撮影・元気いっぱいのToさんと朝日岳山頂のToさん】



【千代の吹上／梅海新道分岐／富山湾を指さし】

日本海を見降ろす事が出来た！富山湾のカーブも見える。遠く新潟方面には佐渡島も望めた。いよいよここまで来たんだ!!!

折角なので、梅海新道の入り口を数歩行く。

後ろ髪を引かれつつ、今日の下山ルートは長い～長い五輪尾根に向かい足を進めた。



【天候の変化がみてとれる・遠く佐渡島を望む・帰路の木道で花二輪】

ここからコースタイムで6時間15分だ。長い道のりであるが途中の高山植物に癒され黙々と下降する。途中の木道での高層湿原が気持ちいい、尾瀬と高山植物の種類も似ているようだ。出発前に朝日小屋のおかみさんから、木道等滑りやすいから気をつけてと言われていたのに、見事に滑って転んだ!!! 怪我が無くて何より。



【お花畑がたくさんあり、疲れた体を癒してくれた】

また、蓮華温泉までの下山道は最後に2時間(300m)ほどの登りが有るとの情報を頂いていた。長い下山道にうんざりしつつ、携帯のGPSを度々確認するも登りが始まらない事には、まだまだのはずだ。

そうそう、朝日小屋の名物弁当のマス寿司とクルミの笹寿司を昼食でいただいた。手の平サイズでもっと沢山食べたかったなあ～(冷凍で前夜に購入し自然解凍で昼に食べた、1個250円也)

我慢しながらの下山道、漸く登りが出てきた。と、いう事はここから2時間の登り!!! ボヤキながらも、最後の頑張りで蓮華温泉に到着した。



【蓮華温泉・駐車場に到着／Toさん、お疲れ様でした】

蓮華温泉ロッジでいただいたコケモモジュースは最高に美味しく、疲れた身体に染み渡った。

蓮華温泉では男湯も女湯共に貸し切り！ 3日間の汗を流し帰路についた。

最後に今回の山行は、家庭の用事や体調、仕事、天候と様々な理由で最終的に2人になった。また迷走台風も心配だったが、結果的には雨具も初日のみの使用で済み天候も味方となった。2人という事で前を私のペースで自由に歩かせて頂き、適切なアドバイスを常に与えて下さったCL 田中さんに感謝いたします。

ありがとうございました。【時田（記）(田中一部追記)】

最終走者にバトンを渡す為に今回は人数の少ない状態でも台風の合間をぬい日本海の見える所まで来ることが出来た、日本海(富山湾と佐渡島)を目前に見ることができ、この上ない幸せと思いつつ拇海新道入口を後にした。良き山旅でした。(田中)



【リンドウが開花・このピンクの花の名はなんだろうー？】



【白馬岳の日の出と To のシルエット】

♪♪サー次は親不知の海岸目指して拇海新道の下降を無事終わらせ日本海の夕日が見たい♪♪